



Depository Library

# クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館



## 国連 2025年の 国際年

国連は、国際年を定めています。国連総会やさまざまな国連専門機関によって宣言される国際年は、1年間を通じて、平和と安全、開発、人権や人道の問題など、ひとつの特定のテーマを設定し、国際社会の関心を喚起し、取り組みを促す目的で制定されています。

これまでには2008年の国際ポテト年や、2009年の国際ゴリラ年などユニークなものもあります。



今年は4つ制定されています

### 国際協同組合年



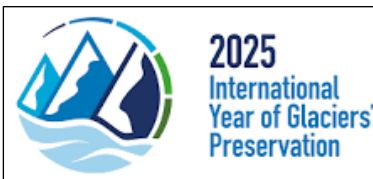
社会や経済の発展に向けて、協同組合という事業体の貢献に注目し認知を高めることを目的に制定されました。貧困削減や雇用創出など持続可能な地域社会を目指す上で協同組合の振興と発展が期待されています。

### 国際量子科学技術年



2025年は、量子力学が誕生して100周年の節目の年であることから、国連総会はこの年をユネスコの「国際量子科学技術年」と宣言しました。量子科学とその応用の重要性についての認識を高めることを目的に、あらゆるレベルで世界的な取り組みが実施される予定です。

### 氷河の保護の国際年



氷河は気候を調整し数十億人に淡水を提供しますが、気候危機により急速に融解しています。氷河が生態系サービスの主要な供給源として果たす重要性を認識し、氷河を保全するとともに氷河に頼る人々を支援する必要性が強調されています。

### 平和と信頼の国際年

International Year of Peace and Trust  
国連と加盟国が平和と信頼の理念を推進し、その誓約を示すことを目的としています。



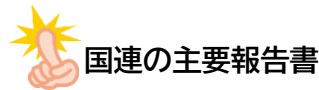
氷河  
について考える



(福岡市総合図書館所蔵)

書名/著者名/出版社/出版年	資料番号	場所
『凍る海の不思議：インドア派研究者の極域奮闘記』 野村 大樹／著 海文堂出版 2021	1014282220	1階ポ65
『犬ぞりで観測する北極のせかい：北極に通い続けた犬ぞり探検家が語る』 山崎 哲秀／著 repicbook 2024	1014630287	1階子3
『南極と北極：地球温暖化の視点から』 山内 恭／著 丸善出版 2020	1014154908	1階ポ65

## ◆◇今月の注目資料◆◇



国連の主要報告書

# 「世界経済状況・予測 2025

(World Economic Situation and Prospects (WESP) 2025)」



全文閲覧できます (英語) ↓

『World Economic Situation  
and Prospects 2025

[https://www.bit.ly/UN\\_WESP2025](https://www.bit.ly/UN_WESP2025)

2025年の世界の経済成長は、2024年と同じ2.8%にとどまり、コロナ前より低いままで。投資の低迷や高い債務水準が成長を制約する一方で、インフレの低下と金融緩和が経済活動のわずかな回復を促す可能性を指摘しています。しかし、戦争や貿易の問題など不安なことも多く、特に貧しい国には厳しい状況が続きます。アジアでは中国やインドが経済を支え、アフリカも成長する見込みですが、借金の返済や気候変動の影響が大きな課題です。世界の貿易は回復傾向ですが、国同士の対立や保護主義がリスクとなっています。

国連は、気候変動や格差の問題を解決するために、世界中の国々が協力し、貧しい国への支援や、再生可能エネルギーなどにもっと投資することが大切だと呼びかけています。

## 2025年大阪・関西万博に 「国連パビリオン」

2025. 04. 13-10. 13



テーマは  
「United for a Better  
Future: 人類は団結した  
とき最も強くなる」

35の国連諸機関、および15の国連事務局の部局が参加

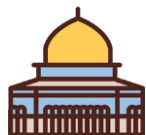
国連は、4月13日に開幕する大阪・関西万博のエンパワーリング・ゾーンにて、国連パビリオンを開館します。2025年は国連創設80周年、これまでの国連の活動を含め、万博のテーマウィークや国連の国際デーなどに沿った週ごとの特別展やさまざまなイベントが行われるほか、ギフトショップでは国連やSDGsの限定グッズも販売予定です。

### ご存知ですか？国際デー

3月15日

#### イスラム恐怖症と 闘う国際デー

International Day to  
Combat  
Islamophobia



国連は、2022年3月の国連総会において、3月15日を「イスラム恐怖症と闘うための国際デー」と宣言する決議 (A/RES/76/254) を採択しました。

イスラム恐怖症 (islamophobia) とは、イスラム教徒に対する嫌悪のことです (『ジーニアス英和辞典』大修館書店、2023年)「イスラム教である」という理由だけで引き起こされている差別や暴力事件が増加しています。テロリズムや暴力的過激主義は、いかなる宗教、国籍、市民、民族とも関連づけることはできません。人権の尊重と宗教や信仰の多様性に基づき寛容と平和の文化を促進する取り組みが求められています。



編集後記



国際イニシアチブ「Photography 4 Humanity」によるオンライン写真展が、現在、国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR) の支援を受けて開催されています。

「[Photography 4 Humanity 2024](#)」で検索するとご覧いただけます。気候危機、そして人権の危機を鋭くとらえた写真に引き込まれ、圧倒され考えさせられます。言葉以上に語る写真の力を感じてみてください。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・  
国連カウンターにお立ち寄りください！



## 九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階  
TEL 092 (852) 0628

開館時間: 10:00~20:00

10:00~19:00 (日・祭日)

\* 相談業務は 19:00(日・祭日 18:00)まで

休 み : 毎週月曜・毎月月末

(休日のおときはその翌平日)

年末年始・図書特別整理期間